

経営比較分析表（令和2年度決算）

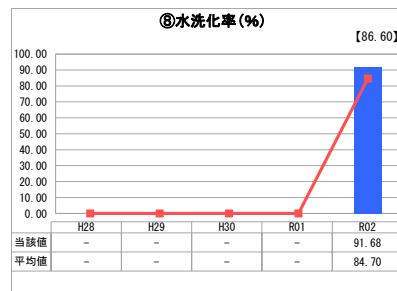
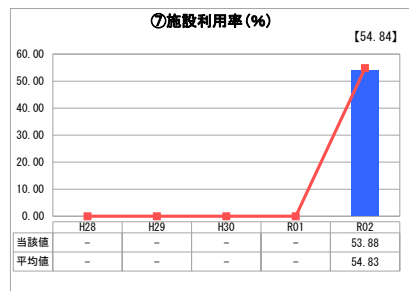
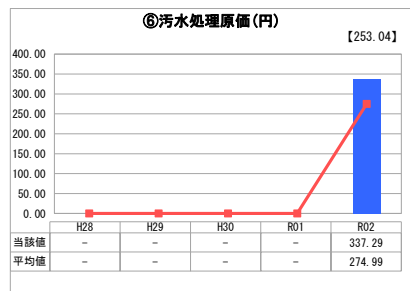
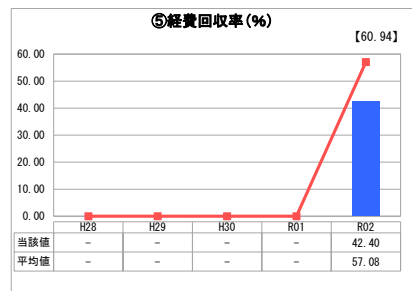
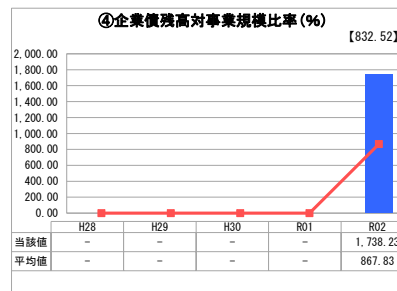
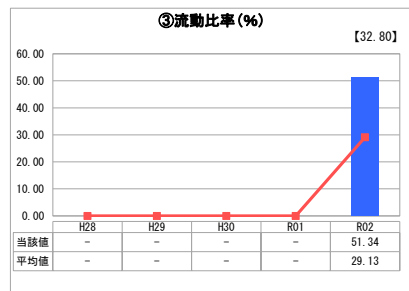
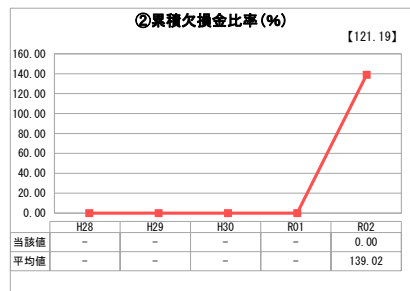
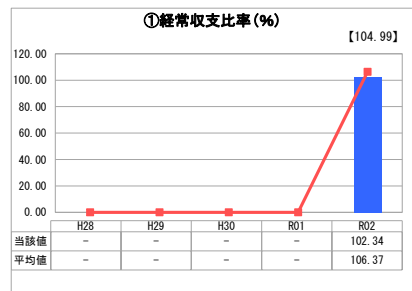
岡山県 新見市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	73.04	4.26	89.47	3,270

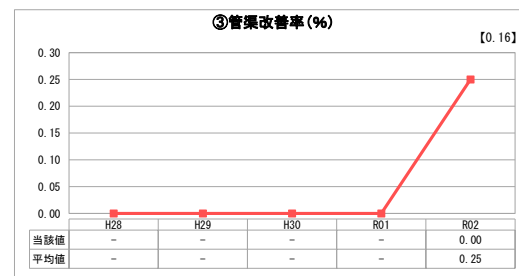
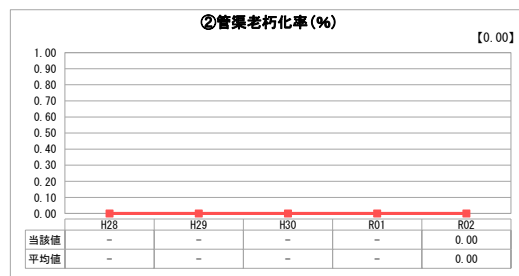
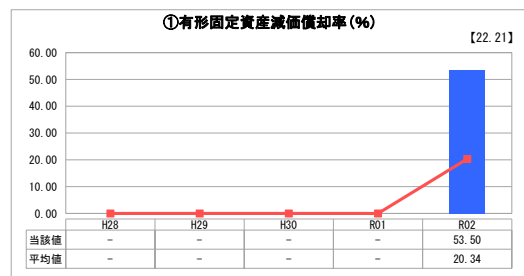
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,396	793.29	35.80
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,202	0.36	3,338.89

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業会計に移行したことに伴い、令和元年度以前（法非適）の数値はこの分析表に記載されていません。

①経常収支比率は、100%を超え単年度収支は赤字となっており、累積欠損金も発生していない。

③流動比率は、100%には満たないものの全国平均や類似団体平均より上回っている。

④企業債残高対事業規模比率は、全国平均や類似団体平均を上回っているが、起債残高が多額であり営業収益で不足する分は一般会計繰入金で賄っている。

⑤経費回収率は平均値を下回り、⑥汚水処理原価は平均値を上回っている。新見市は山間部に位置しており、人口密度が低いため管路延長が長く、地形に高低差がありマンホールポンプなどの設備も多いため、事業規模に対し割高な資本費に伴う企業債償還が影響していると考えられる。また、下水道使用料単価が安価なことも影響していると考えられる。

⑦施設利用率は、全国平均や類似団体平均より低いのは人口減少や高齢化の傾向が高い地域であり有収水量が少なくなっていることが要因である。

⑧水洗化率は平均値より高いが、人口減少や節水意識の向上もあり、計画流入量に達していない。経営改善を図り、使用料改定を検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

施設は比較的新しく、管渠については当面改修・更新等の必要はないが、処理場については最適整備構想に基づき、設備の更新を行っていく必要がある。

全体総括

収益的には赤字であり、経費回収率も100%に達していないことから施設効率の改善、水洗化率の向上、適正な下水道使用料に改定を行う必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。